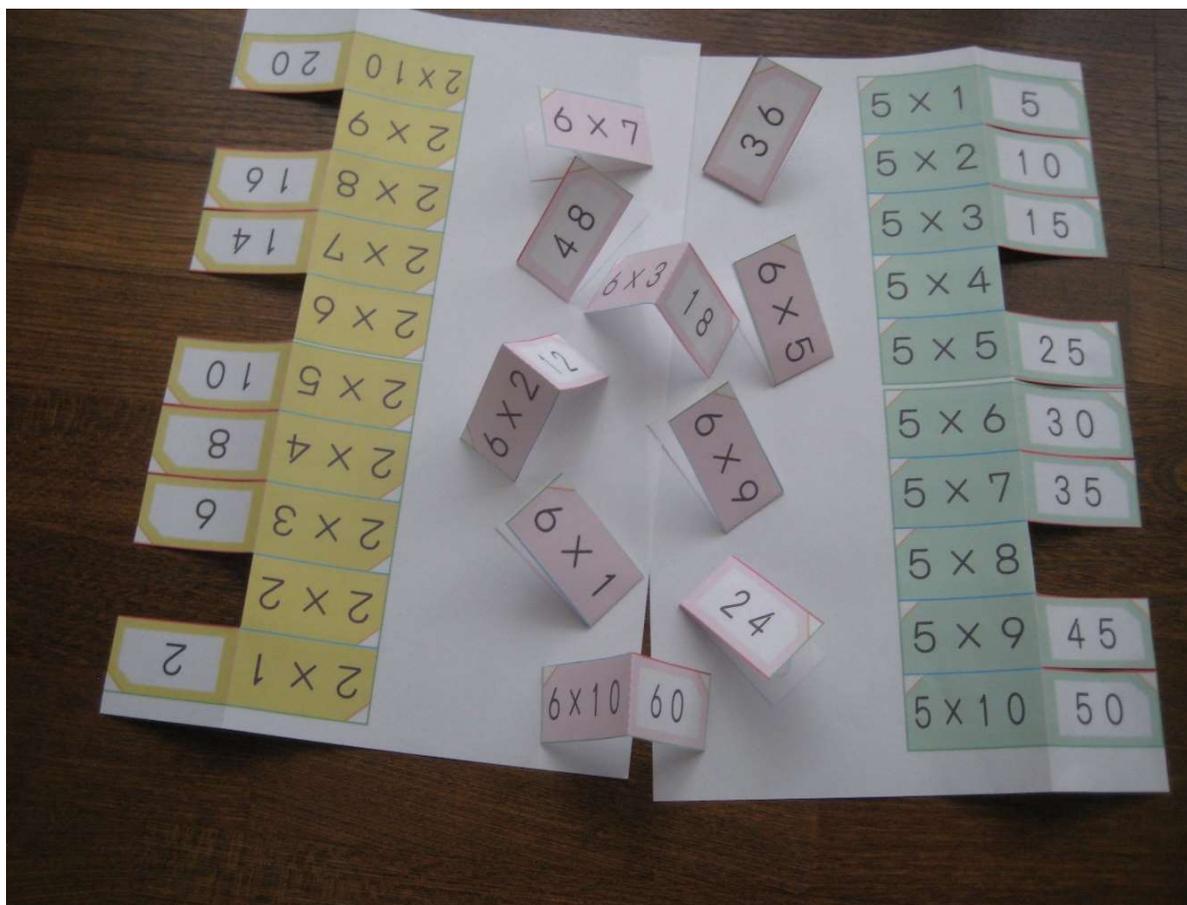


九九プレートは各段別に取り、  
白地の答えが折って隠せるようになっているものです。  
ふたりが向かいあって、「6かける6は？」  
と聞くひとが、端を折って答えをかくします。  
答えるひとは、「う～ん、え～と、36」  
などと答えます。  
聞くひとも答えるひとも、そんな  
ゲームをしながら答えを覚えていきます。

ときには逆に、いままで聞いていたひとが  
生徒になって、それまで聞いていた子が  
教える役割になります。  
わざと間違った答えを言うと、「ちがう！」  
と言って、折った答えを開くので、  
この子はある程度わかっているらしいと気づきます。

また、別の遊び方もあります。  
プリントを1枚ずつカード状に切り離して、折り線で折ります。  
カードをばらまいて、問いと答えを当てるように遊びます。



$1 \times 1$	折り線	1	切り線
$1 \times 2$		2	
$1 \times 3$		3	
$1 \times 4$		4	
$1 \times 5$		5	
$1 \times 6$		6	
$1 \times 7$		7	
$1 \times 8$		8	
$1 \times 9$		9	
$1 \times 10$		10	

$2 \times 1$	2
$2 \times 2$	4
$2 \times 3$	6
$2 \times 4$	8
$2 \times 5$	10
$2 \times 6$	12
$2 \times 7$	14
$2 \times 8$	16
$2 \times 9$	18
$2 \times 10$	20

$3 \times 1$	3
$3 \times 2$	6
$3 \times 3$	9
$3 \times 4$	12
$3 \times 5$	15
$3 \times 6$	18
$3 \times 7$	21
$3 \times 8$	24
$3 \times 9$	27
$3 \times 10$	30

$4 \times 1$

4

$4 \times 2$

8

$4 \times 3$

12

$4 \times 4$

16

$4 \times 5$

20

$4 \times 6$

24

$4 \times 7$

28

$4 \times 8$

32

$4 \times 9$

36

$4 \times 10$

40

$5 \times 1$	5
$5 \times 2$	10
$5 \times 3$	15
$5 \times 4$	20
$5 \times 5$	25
$5 \times 6$	30
$5 \times 7$	35
$5 \times 8$	40
$5 \times 9$	45
$5 \times 10$	50

$6 \times 1$	6
$6 \times 2$	12
$6 \times 3$	18
$6 \times 4$	24
$6 \times 5$	30
$6 \times 6$	36
$6 \times 7$	42
$6 \times 8$	48
$6 \times 9$	54
$6 \times 10$	60

$7 \times 1$	7
$7 \times 2$	14
$7 \times 3$	21
$7 \times 4$	28
$7 \times 5$	35
$7 \times 6$	42
$7 \times 7$	49
$7 \times 8$	56
$7 \times 9$	63
$7 \times 10$	70

$8 \times 1$	8
$8 \times 2$	16
$8 \times 3$	24
$8 \times 4$	32
$8 \times 5$	40
$8 \times 6$	48
$8 \times 7$	56
$8 \times 8$	64
$8 \times 9$	72
$8 \times 10$	80

$9 \times 1$	9
$9 \times 2$	18
$9 \times 3$	27
$9 \times 4$	36
$9 \times 5$	45
$9 \times 6$	54
$9 \times 7$	63
$9 \times 8$	72
$9 \times 9$	81
$9 \times 10$	90